

子どもと保護者と教職員とともに考える！



人権フォーラム新聞



令和5年5月25日発行第2号

3年生では、5月から「識字」についての学習を重ねています。『雨の指文字』という人権啓発映画を見て、お子様は部落差別の現実から、差別により奪われたものについて考えるとともに、文字を識ることは生きる喜びを与えてくれたり、心を豊かにしてくれたりすることに気がつきました。また、学校で勉強をもっとがんばって、悲しい思いをする人たちをなくしていきたいという思いを強めたお子様もいました。今回は3年生が学習後に書いた感想を各家庭に持ち帰り、それを読まれた保護者の皆さまの感想を掲載して、子どもと保護者と教職員で考える機会にしたいと思います。

保護者の皆さまの感想より



- ★子供の感想を読んで、部落差別により文字の読み書きができない方がいるという現実には衝撃を受けました。感想文の中に、恥じる事はない！という言葉があり、人それぞれ違っても良いのではないかと感じます。現代では、環境により学べないという悲劇が起こらない世界、子供達が平等に学べる世界が、当たり前になるよう切に願います
- ★色々な事を感じ取り沢山感想を書いていてちゃんと学習している事が分かりました。もしこれからの人生でこういった差別問題と関わる事があれば『雨の指文字』を思い出して活かして行って欲しいと思いました。
- ★部落差別があったために学校に行けず、学べなかったから文字が読めない。またそこで差別を受けるといふ現実を知り悲しくなりました。『文字を書いたり読んだりできることは当たり前ではなく、人に幸せをあげること』だと聞いて、考えさせられました。これからもいろんな真実を学び、また家でも話し合えたらと思います。
- ★子どもの感想を読んで、文字の読み書きが出来なくても、「勉強したい」という気持ちを持ち続け年を重ねてからでも遅くないということを感じました。
- ★子どもの持ち帰ってきた感想を読んで、家庭では今まで部落差別についての話をあまりしてこなかったことを強く感じました。これからは、学校での学習だけでなく、家族みんなが差別についての正しい認識や人権意識を高められるように家庭で話す機会を増やしていこうと思います。

★人権学習を通じて普段の生活ではあまり体験できない部落差別問題について、映像を見ながら身近に考え感想にまとめることができおり、有意義で素晴らしいと感じます。つるぎ町という小さな町において日常では感じる事ができない識字学級の人権学習ですので、識字学級が必要とされる背景を考えながら人権の大切さを感じ取って欲しいと思います。またこのような人権学習を続けていただき、大局的な視点による子供の成長に繋がれば幸いに存じます。

★子どもが「正しい知識をつけることが大切」と書いていて、その通りだと思いました。

★「識字」について、私達親は授業等で知っていたが、今の中学生は知らないのだなと思いました。当たり前のように学べるありがたさや様々な歴史の背景を知るとは、とても大切なことだと思います。偏見や差別がいろいろな歴史をつくってしまったことを学んでほしいと思います。

★私もかつて学生のころ、部落差別について学んだことを思い出しました。〇〇年も経ったこの現代社会の今もなお、人権問題や貧困や環境の問題など、様々な悩みを抱えながら生活されている方々がおられます。そのような方々をサポートできたらと考えました。人権に関することについて学び、子どもたちが世の中の事をたくさん知ってほしいと思います。

教職員の感想より



★人権学習など、授業中お子様の意見や考えを聞いて、ハッと気づかされたり、再確認したりすることがあります。教える立場にあっても、お子様から教えられることもあり、ともに学ぶ喜びを感じる幸せがあります。また、お子様の考えを聞くことで、表面だけではわからない心の中を知ることでもある非常に貴重な時間となっております。ご家庭でも人権問題や部落差別について話をしていただけることは、とてもありがたく、お子様にとっても、学校から家庭へと学びをさらに深めていく大事な機会になると思います。今回も貴重な感想をいただきましてありがとうございました。この感想をさらに今後の学習に生かしていきたいと思っています。

識字学級について

日本の識字率は世界的には高いのですが、全国には文字の読み書きを学ぶ識字学級があります。同和問題解決の取り組みの中で、被差別部落に集中的に文字の読み書きができない人々がいることが明らかになりました。明治以後も差別が続き、小さいときから子守りや家業を手伝うなど、学校に行きたくても行けない生活を余儀なくされた現実がありました。社会生活を営むうえで、大切な教育を受ける権利や安定した仕事に就くことが保障されていませんでした。識字学級は、被差別部落を中心に組み立てられてきましたが、現在では、市民を対象にした夜間中学校や在日外国人を対象にした識字学級、さらに点字・手話を中心にした活動等もあります。

